

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-540	14-063	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
<p>The modest alcohol consumption reduces the incidence of fatty liver in men; a population based large scale cohort study. 適量飲酒は男性の脂肪肝発症率を減少させる—大規模一般住民コホート—</p>		
執筆者		
Hashimoto Y, Hamaguchi M, Kojima T, Ohshima Y, Ohbora A, Kato T, Nakamura N, Fukui M.		
掲載誌		
J Gastroenterol Hepatol. 2014 Sep 19. doi: 10.1111/jgh.12786. [Epub ahead of print]		
キーワード		PMID
脂肪肝、NAFLD、肥満、疫学		25238605
要 旨		
<p>目的： 本研究では日本の一般住民を対象とした大規模な縦断解析により適量飲酒と脂肪肝との関連を明らかにすることを目的とした。</p> <p>方法： 検診を10年間以上継続して受診した健常人5,437名を対象とした。標準化された質問紙法を用い、飲酒量を4段階に分類した(1週間あたり40g未満、40~140g、140-280g、280g以上)。解析には年齢、Body mass index、運動習慣、喫煙習慣等で調整したCoxハザードモデルを使用した。</p> <p>結果： 男性において、週40g未満の群を基準とした、40~140gの群、140-280gの群の脂肪肝発症調整ハザード比はそれぞれ0.72(95%信頼区間:0.60-0.86)、0.69(95%信頼区間:0.57-0.84)であった。女性ではこの関連はみられなかった。</p> <p>結論： 少量~中等度の飲酒により、健常男性における脂肪肝発症率が減少する可能性が示唆された。</p>		